

単位:万円

特 別 会 計						
会 計 名	歳入 45億9,172万円			歳出 44億3,072万円		
	決算額	前年度	対前年比	決算額	前年度	対前年比
御代田財産区	12,713	1,404	805.5%	12,591	1,358	827.2%
小沼地区財産管理	602	858	-29.8%	572	824	-30.6%
住宅新築資金等貸付事業	2,278	2,565	-11.2%	2,246	2,513	-10.6%
国民健康保険	129,553	119,522	8.4%	119,234	112,816	5.7%
老人保健医療	91,671	103,048	-11.0%	91,618	102,551	-10.7%
介護保険事業	85,455	80,782	5.8%	82,144	79,300	3.6%
御代田町簡易水道事業	14,020	32,601	-57.0%	13,020	28,015	-53.5%
小沼地区簡易水道事業	12,096	12,482	-3.1%	11,598	11,025	5.2%
公共下水道事業	106,473	100,140	6.3%	105,759	99,689	6.1%
農業集落排水事業	3,276	3,361	-2.5%	3,267	3,326	-1.8%
個別排水処理施設整備事業	1,035	839	23.4%	1,023	831	23.1%
合 計	459,172	457,602	0.3%	443,072	442,248	0.2%

単位:万円

平成18年度 起債残高(普通会計)	
70億7,852万円	
借入先内訳	金額
政府資金	236,867
公営企業金融公庫	168,460
市中銀行	139,746
その他	162,779
合 計	707,852

単位:万円

平成18年度 起債事業	
事業名	起債額
臨時財政対策債	19,960

※起債残高…町が借りているお金の返済残金

※普通会計に含まれるものは、一般会計と

住宅新築資金等貸付事業特別会計と小沼地区財産管理特別会計です。

特別会計の決算は？

【特別会計】

特別会計は11会計で、それぞれ目的に沿った事業を推進しました。

このうち、御代田財産区特別会計では、用地の売却により歳入で前年比1億1,309万円、805.5%の大幅な増加となりました。

国民健康保険特別会計は保険給付費等の増により1億31万円、8.4%増となっています。

小沼地区財産管理特別会計は前年度に管理地の売却があったため、256万円、29.8%の減、御代田簡易水道特別会計も前年度に配水池築造工事があったため前年比1億8,581万円、57.0%の減となっています。

円、11.1%減で、馬瀬口地区基盤整備農道工事や林道舗装工事の減などによるものです。

商工費は、前年度にやまゆり工業団地用地売却に伴う土地開発公社への補填金があったため、今年度はその分が大きく減少となり、前年比1億5,091万円、70.5%の減となっています。

土木費は住宅新築資金、公共下水道など特別会計への繰出金の減少などで、前年比2,501万円、7.9%の減です。

教育費は前年比1億2,814万円、19.6%減となりました。南小学校の増築事業が終了したことによるものです。

消防費は前年比3,881万円、14.4%減で、消防団員の退職報償金の減などによるものです。

こころのやすらぎ



心理相談員
浅川佳子

成長の段階

九月号では、性格形成『子どもの誕生』と『口唇期』についてお伝えしましたが、今回も引き続き性格形成について書きたいと思います。

肛門期：一、五歳～三歳頃（離乳後から入園まで）のこと
で、子どもがトイレで排便、排便が出来るようにしつけをする時期です。

排尿・排便のしつけを通してセルフコントロールの訓練をする時期です。自分の意志で、トイレに行くまで排便・排便を我慢すること。

このしつけがしつけの原点でもあります。

この時期のしつけが厳しすぎると「出したくない…」の心理が育つ傾向で「融通がきかない、素直に受け止められない、頑固、ケチ等」の性格傾向になります。

その逆にしつけがゆるい場合（ルーズ）は、自分勝手、我慢が出来ない、わがまま、しまりのない性格傾向になり、「汚い汚い」と育てると几帳面、不潔を極度に嫌う素因になるともいわれています。

トイレ・トイレニングの際に「上手く出来たね」などと、お子さんに声がけをしながら親子関係を築いて欲しいと思います。

男根期：四歳～五歳頃で排泄のしつけがすんだ後の幼児期をいいます。

子どもは性別を意識し男の子、女の子と区別をする時期になりますので、男の子、女の子の体の違いや男の子、女の子の良さを感じとらせながら育てることも大切になります。

子どもにとって、最初の異性はおおよそ異性の親といわれます。

女の子は母親（同性）を通してやさしさや女らしさを身につけ、父親（異性）の愛を欲しがる時期です。

男の子は、母親への愛情や独占欲が強まり父親（同性）とライバル関係になることで父と張り合います。張り合うことで愛を得ようとして男らしさを学ぶ時期です。

この時期に、性別を認められながら育ててもらおうと自信に満ちあふれた人になり、甘やかされた場合は攻撃的、高慢でうちとけにくく、自己顕示的を求めようになり、認められなかった場合は、自己の弱さ、自信を失うことになるといわれます。

潜在期：小学生時代に相当します。

小学校に入り、社会のルールの中での生活が始って自分の欲求を抑制・抑圧することや学びとする時期でもあります。また、抑制・抑圧した欲求を昇華（欲求を社会的文化的に許容されたより好ましい傾向に変容して発散させる）する方法を学ぶことも必要と思います。

昇華方法がうまく出来ないと衝動的に暴走したり、キレやすくなったり、がんばりすぎたり、ぶりっ子等の傾向になりがちです。親の愛情、やさしさ、スキンシップで子どもの本音、弱音、抑圧されている感情を出せる場を与えることで緩和されるのではないかと感じます。

性器期：思春期にはいり身体的成熟とともに不安や罪悪感なしに異性につきあえるようになります。しかし発達段階（口唇期、肛門期、男根期、潜在期）の節目を乗り越えてきた人が理想的な形で成熟してきたと考えられますので、発達段階では未解決な問題を持ち越さないこと、アイデンティティの確立が大切なことと思います。

アイデンティティの確立（精神分析家・エリクソンによつて提唱された）は「幼児期から今日までの自分の来歴を受け入れ、自己意識が一貫していて明瞭であること。自分の置かれている社会的な場において、他の人との関係の中での共通性と独自性を明確に意識していること」「自分が自分である」といわれています。このような定義から感じるところは、発達段階だけにとどまらず成人期、老人期についても同じではないでしょうか。

引用・参考文献

誠信書房『カウンセリング辞典』
メンタルヘルス総合研究所
テキスト『性格形成』

心理相談室の利用について

相談日：水

相談時間：午後2時～午後5時

相談場所：心理相談室
相談料：無料

予約・問い合わせ先

エコールみよた

(32) 9100

心理相談室または

内線117番へ

繋ぐようお伝えください。